秘書室　経営計画書（　総括表　）

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式区分	H31 年度計画額（単位：千円）		H31 年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職	臨時職員
1	秘書事務事業	B	1,996	0	0.8	0.7
２	儀式・表彰事務事業	B	780	0	0.2	0.3
合　計			2,776	0	1.0	1.0

■特記事項

事 業 別 経 営 計 画 書【B】

■基礎情報

<table>
<tr><td>所属名</td><td colspan="2">総務部　秘書室</td><td>No.</td><td>1</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">秘書事務事業</td></tr>
<tr><td rowspan="2">総合計画の体系</td><td>基本目標</td><td>6</td><td colspan="2">持続可能な地域経営</td></tr>
<tr><td>基本政策</td><td>3</td><td colspan="2">情報発信・共有</td></tr>
<tr><td>目的</td><td colspan="4">町長及び副町長のスケジュール管理
町長交際費の適切な執行</td></tr>
<tr><td>事務内容</td><td colspan="2">・町長・副町長の日程調整及び管理事務
・交際費及び慶弔事務
・町長公文書・資料管理及び情報収集
・来客・来賓応接</td><td colspan="2">・挨拶・礼状の作成
・電報等、渉外事務
・町長の資産公開事務
・県郡町村会</td></tr>
<tr><td>現在における経過又は課題</td><td colspan="4">○ 町長への各種行事の出席依頼や、面会の依頼が多数寄せられる。
年度始めや終わり、また、季節によっては、土・日曜日や祝日など、休日に開催される行事のご案内が重なることが多々あり、時間配分など、スケジュールの調整に苦慮することがある。
毎年、同時期に開催される行事については対応状況を記録するようにし、適切なスケジュール管理に努める。

○ 町長交際費について、適正な執行に努める。
・最近の慶弔関係については家族葬が多くなり、香典や弔問辞退など、これまでと対応が変わってきている。
相手の意向に十分配慮し、適切な対応に努める。

・児童・生徒さんからの表敬訪問を、沢山 いただくようになった。
訪問となった背景を把握するとともに、激励や お祝いなど、来庁者に配慮し、相応な対応をする。

○ 「大口町後援名義使用許可申請」について、年々、多種多様な事業について申請が出されるようになった。
事業目的や対象者、事業効果など十分に内容を検討し、適切と判断したものにについて許可するものとする。</td></tr>
<tr><td>令和元年度の目標又は改善策</td><td colspan="4">○ 町長への出席等依頼については、町長に出席をしていただくもの、町長以外の方でお願いができるものなど、担当部局に相談をかけて検討し、適切な対応とスケジュール管理に努める。

○ 交際費については、対象となる項目について内容を十分精査し、過分な対応とならないよう努める。

○ 弔慰に関するものについては、ご遺族等の想いに沿った対応となるよう、細心の配慮に努める。</td></tr>
</table>

■作業工程（当該年度）

月	作　業　内　容
4 ～ 3	○ 各月 ・月末 翌月の町長スケジュール確認、公用車の予約手配 ・１５日前後 翌月の町長交際費の支出予定の確認及び伝票処理 ・月始め 前月の町長交際費の支出内容・支出額の確認及び伝票処理 ホームページ更新事務 ○ ４～５月 町長資産公開事務 ○ 随時 来客対応等、スケジュールの調整 交際費対応 後援名義許可申請 ・政策要望・アンケート等 への対応 公職者名簿の管理 電報等、渉外事務 一部事務組合との関係事務 愛知県町村会及び、丹羽郡町村会関係 事務

■事業コスト

		単位	H29 年度決算額	H30 年度当初予算額	R1 年度計画額
事業費		千円	1,655	1,705	1,996
（内特定財源）		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.8	0.8	0.8
	臨時職員	人工	0	0.7	0.7
	計	人工	0.8	1.5	1.5

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金　額	備　考（充当先等）
合　計		

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等） （単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容

■特記事項

■目標又は改善策に対する取組内容

【町長のスケジュール管理】

町長が令和元年６月より愛知県町村会長に就任したことにより、愛知県町村会長としての職務に加え、それに伴う各種あて職、並びに、全国町村会・中部ブロック府県町村会・東海４県町村会関係とスケジュールが大幅に増え、遠方へ出張する機会も増えることとなった。

議会とのスケジュール調整を始め、これまで案内をいただいていた各種団体のイベントや一部事務組合関係会議等とのスケジュール調整については所管課も交え、相手の意向もくみつつ予定を立てるとともに、所管部長にも会議等の出席について協力をいただきながら適切なスケジュール管理に努める。

公用車の運転手さんとは、引き続き普段から会議等の内容や出張先で要する時間などについて、出来る限り情報を提供・共有するようにし、スムーズな運行管理に努めていただく。

【町長交際費の執行】

交際費の基準表に基づき適正な対応に努める。
基準表の対象となっていないケースであっても、相応と思われる場合が生じた際は、
町長の意向や、これまでの対応を踏まえ執行を検討する。

【後援名義使用許可申請】

講演会・スポーツ・各種行事等開催に伴い提出された許可申請書について、事業内容が定められた基準に該当しているか、添付された資料等を参考として慎重に審査し、審査後の結果については速やかに申請者のもとに発送するようにする。

新規の許可申請については、添付資料を始めホームページ等を利用し、実施団体及び、実施事業の内容等を確認するとともに、関連する部署がある場合は担当の立場からの意見を聴くなどし、広い視点から捉え審査を進める。

許可事業実施後においても実績報告書が提出されないケースが多くみられるため、台帳で定期的にチェックし、遅延が確認された場合は直ちに連絡をとり提出を促す。
また、許可書発送時に、事業実施後に提出を要する旨の注意書を同封するようにする。

■評価

【町長のスケジュール管理】

常に、３ヵ月から４ヵ月先のスケジュール表を町長にお渡しすることで、各種予定を早くにお示しすることができ、スケジュールの調整を効率よく進めることができた。

また、同室職員が同じスケジュール表を携帯することで、常に町長のスケジュールを把握することができ、他所からの問合せや調整について速やかに対応することができた。

公用車の運転手さんからは、運行対応後に、その際の交通事情や時間の割振り方などについて状況の確認をとるよう心掛け、余裕をもった安全な運行に繋げられるよう、スケジュール管理に努めた。

【町長交際費の執行】

交際費執行にあたっては基準表に基づき、対象者及び対象事由に配慮しつつ、適切な対応に努めた。

【後援名義使用許可申請】

提出された申請書については、慎重に審査し、許可書等の発送を速やかに進めた。
実績報告書については、遅延が確認でき次第 連絡をとることで、全ての団体から提出を受けることができた。

事 業 別 経 営 計 画 書【B】

■基礎情報

所属名	総務部　秘書室		No.	2
事業名	儀式・表彰事務事業			
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営	
	基本政策	3	情報発信・共有	
目　的	大口町表彰条例に基づき表彰を行う。また、国又は県の栄典及び、各種表彰の対象となる方を推薦する。			
事務内容	・自治功労表彰事務 ・叙位叙勲内申及び、受賞関係事務 ・金婚表彰事務 ・一般表彰事務		・褒章関係事務 ・大口町表彰式 開催	
現在における経過又は課題	○ 栄典等の対象者に係る履歴のデータ管理			
令和元年度の目標又は改善策	○ 議会等の関係機関から資料を収集し、データを作成・管理する			

■作業工程（当該年度）

月	作　業　内　容
4 ～ 3	○ 潜在候補者の把握 各関係機関から 資料を収集・整理 ○ 県からの 各種表彰潜在候補者 照会への回答
7	各課宛て、大口町表彰条例に基づく表彰候補者の照会
9	金婚表彰対象者を広報誌で募集
10	大口町表彰審査委員会 開催
11	『大口町表彰式』 大口町社会福祉協議会との共催により 開催

■事業コスト

		単位	H29 年度決算額	H30 年度当初予算額	R1 年度計画額
事業費		千円		560	780
（内特定財源）		千円		0	0
人工	職員	人工		0.2	0.2
	臨時職員	人工		0.3	0.3
	計	人工		0.5	0.5

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金　　額	備　考（充当先等）
合　　計		

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容

■特記事項

■目標又は改善策に対する取組内容

【叙勲の潜在候補者について】

議会・一部事務組合等の関係機関より関係資料を収集し、データを作成・管理する

【大口町表彰式での被表彰者について】

各課の所掌事務に関わりのある方や団体で、大口町表彰条例をはじめとした各基準等、必要要件を満たされている方について広く推薦を募る。

■評価

【叙勲の潜在候補者について】

対象となられる方が多数おられる他、高齢の方も多く、当時の資料の収集等に時間を要した。
今後も引き続き、資料の収集を進め、データ作成に取り組む。

【大口町表彰式での被表彰者について】

各課への依頼により、所管でしか把握できない様々な分野から推薦があり、本町行政にご貢献いただいた多くの方や団体の皆様を表彰させていただくことができた。